【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2009-108469(P2009-108469A)
【公開日】平成21年5月21日(2009.5.21)
【年通号数】公開・登録公報2009-020
【出願番号】特願2008-302809(P2008-302809)
【国際特許分類】
Ａ４１Ｇ　3/00　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　1/39　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　1/38　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　1/645　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　3/06　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　5/08　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　3/04　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　3/10　(2006.01)
Ｄ０１Ｆ　4/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４１Ｇ　3/00　Ａ
Ｄ０６Ｐ　1/39
Ｄ０６Ｐ　1/38　Ｚ
Ｄ０６Ｐ　1/645
Ｄ０６Ｐ　3/06
Ｄ０６Ｐ　5/08
Ｄ０６Ｐ　3/04　Ｆ
Ｄ０６Ｐ　3/10
Ｄ０１Ｆ　4/00　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月22日(2010.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポリアルキレンポリアミン化合物、ポリアルキレンポリアミンとジシアンジアミドとの縮合物、及び前記縮合物の酸付加塩化合物からなる群から選ばれる少なくとも１種の化合物を含有することを特徴とする染色された再生コラーゲン繊維。
【請求項２】
ＪＩＳ　Ｌ－０８４８に準拠したアルカリ性人工汗液を用いたナイロン白布及び綿白布に対する堅牢度試験において、堅牢度の判定が２級以上である請求項１に記載の染色された再生コラーゲン繊維。
【請求項３】
前記化合物を１～２０%omf含有する請求項１または２に記載の染色された再生コラーゲン繊維。
【請求項４】
前記染色された再生コラーゲン繊維が、１：１型金属錯塩染料、１：２型金属錯塩染料

、均染性酸性染料、ミーリング酸性染料、クロム染料及び反応染料からなる群から選ばれる少なくとも１種の染料により染色されたものである請求項１～３のいずれか１項に記載の染色された再生コラーゲン繊維。
【請求項５】
前記染色された再生コラーゲン繊維が、１：１型金属錯塩染料、１：２型金属錯塩染料、及び反応染料からなる群から選ばれる１種の染料であって、前記選ばれた種に属する複数の異なる染料により染色されたものである請求項１～４のいずれか１項に記載の染色された再生コラーゲン繊維。
【請求項６】
前記染色された再生コラーゲン繊維が、３０～７０℃の温度範囲で染色されたものである請求項１～５のいずれか１項に記載の染色された再生コラーゲン繊維。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか１項に記載の染色された再生コラーゲン繊維からなることを特徴とする人工毛髪。
【請求項８】
染色された再生コラーゲン繊維を、ポリアルキレンポリアミン化合物、ポリアルキレンポリアミンとジシアンジアミドとの縮合物、及び前記縮合物の酸付加塩化合物からなる群から選ばれる少なくとも１種の化合物の水溶液に浸漬し、所定の温度で乾燥する工程を備えることを特徴とする染色された再生コラーゲン繊維の染料定着処理方法。
【請求項９】
前記再生コラーゲン繊維が１：１型金属錯塩染料、１：２型金属錯塩染料、均染性酸性染料、ミーリング酸性染料、クロム染料及び反応染料からなる群から選ばれる少なくとも１種の染料を７０℃以下の水溶液に浸漬して染色されたものである請求項８に記載の染色された再生コラーゲン繊維の染料定着処理方法。
【請求項１０】
再生コラーゲン繊維を１：１型金属錯塩染料、１：２型金属錯塩染料、均染性酸性染料、ミーリング酸性染料、クロム染料及び反応染料からなる群から選ばれる少なくとも１種の染料の７０℃以下の水溶液に浸漬して染色する染色工程と、染色された再生コラーゲン繊維を、ポリアルキレンポリアミン化合物、ポリアルキレンポリアミンとジシアンジアミドとの縮合物、及び前記縮合物の酸付加塩化合物からなる群から選ばれる少なくとも１種の化合物の水溶液に浸漬し、乾燥する染料定着工程とを備える、染色された再生コラーゲン繊維の製造方法。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】染色された再生コラーゲン繊維、人工毛髪、染色された再生コラーゲン繊維の染料定着処理方法、及び染色された再生コラーゲン繊維の製造方法